



も と は し つ う し ん

# 本橋通信

第65号  
2026年1月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

## 第二回事業報告会を開催しました…

皆さまこんにちは。本橋通信第65号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。昨年11月末にお客さま感謝デーと称する「事業報告会」を開催しました。2017年の夏に私一人で始めた資産管理のアドバイザーというビジネスについて、全てオープンにしようという趣旨で企画し、今回は2回目の開催となります。思えばこの仕事を始めた8年前、独立した立場から資産形成や資産管理をサポートするIFA(独立系資産運用アドバイザー)はまだまだ数が少なく、ともすればやや怪しい金融業者と見られていたような感がありました。かくいう私も当初は数名のお客さまから応援的なお預かり資産はあれども、信用は全くゼロの個人事業主でしたので、時間だけはたくさんありました。いわゆるヒマだったんです…だからこそ、自分ならではの専門的な金融サービスを設計していこうとか、5年後10年後、若しくは20年後には、お客さまとの関係性をこういう風にしていきたいとか…都内の薄暗～い会議室で毎日・毎晩モゾモゾと資料を作ってはセミナーを開催したり、モーレツ営業ではなく、おとなしく書きモノをしつつの試行(思考)錯誤の8年間。この間に2020年には社会が一時ストップのパンデミックが…コレには流石の私も参りましたが、WEB空間での勉強会・大先輩起業家の社内報をヒントに本通信をスタート。2022年にはインフレ退治のため米国で急ピッチ利上げと約20%株安・ウクライナ危機も凌ぎ、25年はトランプ関税ショックも横目に、リニューアルされた新NISAの実務的な活用にフォーカスしてと、何とかカンとか8年間の軌跡をご報告。後半は資産運用業界から特別ゲストを2人お招きし、プロが実践する投資先の選別基準や長期投資の肝である投資哲学で、私も心機一転の感謝Day…



## MFAO(Motohashi Financial Advisors Office)の本棚より

今月も引き続き投資関連の本『AI時代を生き抜く資産とキャリアの築き方 武器としての投資』のご紹介です。著者は運用会社農林中金バリューインベストメントの奥野氏。低コストのインデックス派/良い企業を選別してのアクティブ派、一括投資派/分割買い派…等々、投資の手法や価値観は人それぞれ無数に存在します。ただし、頻繁な売買で取引コストと無駄な税負担は長期投資には×。本著は投資とは何かという根本的理解、これを通じた社会との関り、資本家として得られる視座やビジネスパーソンとしての生き抜く武器としての教養(投資)について、いろいろな角度から論じています。第1章:AI時代に価値を持つ決断力・胆力・共感力。何でも出てくるドラえもん(AI)に安易に頼ってはダメ、人間として深く考え自由に決断し、EQ(感情知能)で皆を巻き込む仕事こそ〇。第2章:労働者3.0のスキルセットは、目の前の誰かの課題を自分ゴトとして引き受けるかで磨かれる。「働いて×5+参ります」の如く根性論ですが、御尤もだなと私は共感。第3章:オーナー型と売買型の株式投資。良いビジネスを自分の富に取り入れる前者が重要なのは明白。第4章:構造的に強靱な企業3要件(顧客の問題解決力、圧倒的な競争優位、不可逆的な長期潮流)。ラストは労働者3.0×オーナー型株式投資の「相乗効果」で、強靱なビジネスパーソン兼資本家へ



## ✍️ IFA (Independent Financial Advisor) 本橋の視点より ✍️

最近「これから、若しくはもう一度、投資や経済についてちゃんと勉強してみたい…」というお声を多く頂くようになりました。昨今、新NISAやイデコの制度改正といった資産運用や将来設計への環境整備、不確実性が高まる世界情勢・経済環境の変化と共に、ご自身やご家族の将来を考える上で、文字通り「おカネ」や無形資産である「人との関わり」といった多様な財産との向き合い方について、キチンと学んだり考えておきたいという意識の高まりかと実感しています。本コーナーにて資産・将来設計における「一丁目一番地」となり得るトピックスを時折ご紹介してゆきます。資産設計をスタートする前に、やっておきたい「7つの心がまえ」編です。

心がまえ第6弾は「長期で続けられる仕組みを持つ」です。投資や資産運用の成果は長期で継続してこそ得られる果実です。すぐに上手いこといって得られるのはラッキー・リターンで、恐らく再現性はありません。しかし、長期で投資を続けるために、乗り越えなければならない2つのハードルがあります。これは2つのストレスです。思った通りの成果が上がらないストレス、そして億劫になって投資を止めてしまいたくなるストレスです。資産運用はリスクを取って行うものである以上、常に自分の思い通りのリターンが得られる訳ではありません。〇〇ショックのような市場の急激な下落で、アツという間に資産残高はマイナスとなりストレスがかかります。しかしこのストレス状況でもマイナスを許容できる範囲で当初から投資額を決め、自身の資産に損失が出ていたとしても逃げ出さなくても済みそう…という想定内ストレスにしておくことが理想です。裏を返すと、投資家が皆逃げ出したくなる市場の急落(高いストレスレベル)は将来的なリターンの源泉です。もう一つは継続ストレスです。資産運用は始めるのは簡単でも、続けるのは簡単ではありません。途中で退屈・面倒になって止めてしまったりというパターンが多いです。これを回避するには、日常の中に時々で良いので資産管理チェックを組み入れます。記憶より記録…ご自身の資産一覧でもよし、投資仲間やFA等、定期的に誰かと確認するもよし、折角だから楽しんで負担なく続ける「仕組化」が〇。ご自身に合った快適な方法と長期で続けられる環境整備が大切です！

### ◆編集後記◆

大切だと解っていても、気が向かなくて後回し…

久々に歯科医院に行きました。特に痛いとかではないのですが少々沁みるかな～程度で、全く気が進まないまま診察台へ。私と同世代のN先生は現状と治療方針を丁寧に説明してくれ、「昔は痛くなればガリガリ治し、また痛くなったら削って…」と、昔と今の違いや保健制度の変遷に伴う定期診療サイクル等々、患者さんとの距離感や信頼を築くやり取りに、私は完全お任せに決定へ。そんなN先生、「私も嫌で嫌で後回しにしているのですが、年末までに人間ドックを受診しなさいと健保の催促ハガキ何枚も来てまして…」と、皆同じです(笑)

◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

### 【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快!)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは  と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp